

和歌山電鐵貴志川線 次の10年へ 27年度実績は初の利用者230万人台に

利用・収支実績

開業から10年目となる27年度利用実績は以下のとおりとなり、和歌山電鐵として開業後、利用者は初めて230万人を超えました。

	輸送人員	26年度比	
定期外	83万8千人	▲ 4万3千人増	105.4%
通勤定期	67万4千人	◆ 1万8千人減	97.4%
通学定期	80万8千人	▲ 1万6千人増	102.0%
合計	232万0千人	▲ 4万1千人増	101.8%

定期外については、東アジアを中心とした外国人団体客が前期比117%と7千人増加したこと、「チャレンジ250万人」運動の取り組みである「あと4回きっぷ」の発売（人数換算で14千人）、そして運賃改定前の回数券の駆け込み需要（同10千人）等一時的な要因を多くありましたが、開業後最高の水準となりました。

定期については、通学では増加したものの、通勤では生産年齢人口の減少の影響から減少に転じています。

転送人員の増加により、運輸収入は、3億5千万円となりましたが、マクラギ交換をはじめとする線路、電路及び車両設備の修繕費用が大きく増加し、赤字額は81百万円となりました。

これから

平成18年の事業引き継ぎ後に設けられた和歌山市・紀の川市による運営補助金（82百万円／年を上限）については、この27年度で終了することになりました。

事業引き継ぎ前は年5億円と言われた赤字を大幅に圧縮しただけでなく、通常であれば補助金の全額を使い切ろうとする事業者の多い中、地域の協力と経営努力により、この運営補助金も次代のために、10年間の累計で43百万円を使うことなく終わることができました。

そして貴志川線の開業100周年、和歌山電鐵としての開業10周年を迎え、28年度からの次の10年、自治体の支援は大きく様変わりします。

当初から理想としてきた公設民営の形には至りませんでした。今後は「準」公設民営的な形態として、和歌山県、和歌山市及び紀の川市による設備整備に特化した支援が行われることとなります。

これからの貴志川線をめぐる変化と、和歌山電鐵としての意気込みについては、③ページの社長メッセージをご覧ください。

次の10年間の自治体の支援内容決まる

赤字を補てんしてきた運営補助金は終了

2016年1月18日、和歌山県・和歌山市・紀の川市と和歌山電鐵、基本合意書を結ぶ

○支援内容

貴志川線が安全に継続運行するため、老朽化した設備を整備する費用に対して、和歌山県、和歌山市及び紀の川市が支援する。

(1) 支援対象

国の補助制度が対象としている設備の更新及び修繕（設備例：レール、マクラギ、踏切保安設備など）

(2) 支援の上限額

- 12億4,790万円（10年間）
- ・全体事業費（10年間で約18億円7千万円）の2／3を自治体で支援
- 各自治体間は、27年度までの支援額の割合に応じて分担
- ・残りの1／3は、国の補助金を活用

【内訳】

和歌山県	4億5,466万円
和歌山市	5億1,561万円
紀の川市	2億7,763万円

「チャレンジ250万」あと4回多く乗って住民の力で永續させよう！

代表から会員のみなさまへ

10年前の廃線の危機を 思い浮かべましょう!

貴志川線の未来を“つくる”会
代表 濱口晃夫



4月14日及び16日に九州において2度も震度7を観測する地震が発生し、甚大なる被害がでています。中央構造線断層帯が通っている和歌山県も他人事とは思われません。お亡くなりになった方及び被害を受けられた方々に対しご冥福とお見舞いを申し上げます。

さて『和歌山電鐵貴志川線』は南海から和歌山電鐵が経営を引き継いでから、早いもので10年という年月が経ちました。この間山あり谷あり色々な試練もありましたが、会社の並々ならぬ経営努力と共に、住民の方々のご理解とご支援ご協力のおかげで、また行政の方々のお力添えもあって減少を続けていた乗客数も増加してきています。しかしながら残念なことではありますが、赤字解消となる乗客増とまでは至っておりません。行政からの運営費補助は

当初10年間と期限が切られておりましたので、この支援は平成27年度末で終了しました。しかし、貴志川線が沿線住民にとってなくてはならない鉄道であることには変わりはありません。今年度からの支援については行政の方々話し合いを続けてきた結果新しいスキームで10年間ご支援いただけることとなりました。

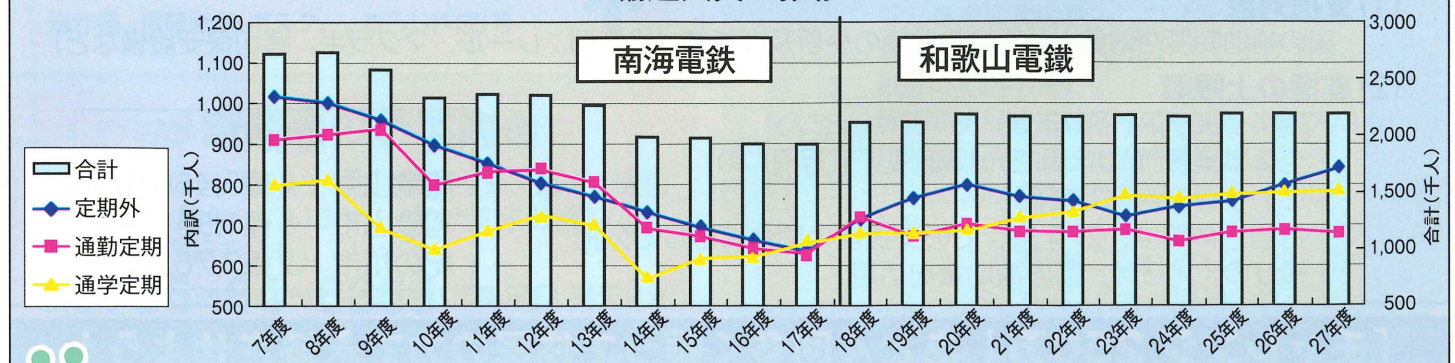
乗客数は増加してきていると記しましたが、『たま駅長・ニタマ駅長』『いちご電車等』が人気で県外からのお客様の増に大いに助けられています。これからは沿線住民の方々のご利用、利用促進を中心に取組んでいく必要が有ります。10年前に立ち返り今一度廃線の危機を思い起こし一度でも二度でも多く貴志川線に乗車してください。

平成28年度(2016年)役員名簿

(平成28年4月9日第1回定例会確認)

役職	名前	役職	名前
代表	濱口晃夫	幹事	梶本祥子
副代表	奥重視	//	西本哲夫
//	木村幹生	//	川口昌宏
事務局 長	奥山和生	//	稲置佳広
事務局 次長	奥重貴	//	織田元宏
//	堀内健作	//	森山正雄
//	川村記義	//	藤田宗治
//	富高彰	//	山本滋子
会計	堀瑛	//	次田尚弘
幹事	杉林雅義	//	宮脇正好
//	中西由子	//	鳥淵朋子
//	小山裕史	//	中西望
//	吉本昌純	//	大谷豊
//	岩垣勉	監査	山本好延
//	山下日出子	//	中西充子

輸送人員の推移



基本合意書の締結を受けて



『売上3億円で費用が8億円、年間5億円もの大赤字路線として再建が不可能と思われ、廃線の危機にあった貴志川線の事業を、両備グループの岡山電気軌道がヨーロッパ型の公設民営の手法で再建を引き受け、平成18年4月1日に路線を引き継ぎました。

当時は、全国で約70社の赤字地方鉄道の再建築はないと業界も行政も思っていました。実際和歌山の市民も、開業当日の伊太祈曽駅で手を合わせて感謝してくれたおばあちゃんお二人が口をそろえて「あなたが再建を引き受けてくれた社長さんですか？ありがとうございます」とお礼を言われたあとに、「でも逃げないでね」とニヤッと笑われたように、とても10年は持つまいと思われていました。

しかし、「貴志川線の未来をつくる会」はじめ市民の皆さま、行政の皆さまの応援に、たま駅長、ニタマ駅長や楽しい電車たちと社員の頑張りで、それまで減少の一途であったお客様は奇跡的に20%近くも増加し、経費節減にも努めることで再建軌道に乗せることができました。

お陰さまでこの1月18日に和歌山県、和歌山市、紀の川市とこの4月以降の10年間について合意書を結ぶことができました。

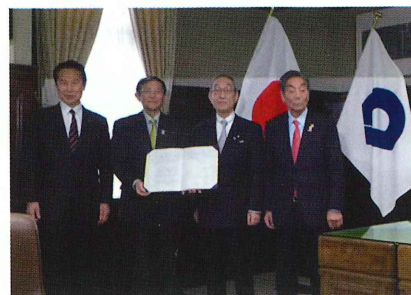
理想とする公設民営までにはなりませんでしたが、準公設民営として、公が設備投資費等について補助し、運行は100%和歌山電鐵が責任を持つという形態です。

すなわち、設備費や修繕費の一部は公が負担しますが、今度は運営にたいする82百万円/年の補助金はなくなるという一見厳しいものです。

今までの再建の10年間で、再建前に比べ大幅に収支は改善し、当初計画にはなかった施設の老朽化や自然災害や電力料金値上げを吸収して、南海電鉄時代は5億円の赤字を82百万円/年以内の補助金で乗り切ってきました。その上補助金も使い切らずに次の10年にも残せるでしょう。

今後の10年間は、運行の補助金の82百万円が全て無くなるのですから、厳しいと言いましたが、再建を決意した時と比べれば、経営の基盤ができています。高齢化や沿線道路の整備(高速道路インターチェンジ設置に伴う周辺の既存道路のバイパス整備)などの逆境が予想されますが、皆さまのご支援と、我々の気力とアイデアで、困難を乗り越える力をさらに和歌山電鐵から引き出していこうと決意しています。

今後の運営は、我々の努力もあってできた交通政策基本法の本質である、公共交通の事業者の孤軍奮闘型から、国、地方自治体、市民と事業者が一体になって維持、発展する協働体制で臨むこととなります。すなわち、国、地方自治体は設備費と修繕費の負担を、市民は公共交通利用と適正な運賃負担を、事業者はアイデアを駆使した経営努力という責任範囲をそれぞれ分担して、地域づくりの一環として維持、発展させていくという仕組みです。



▲次の10年の支援、4者で調印



▲デビューした「うめ星電車」

今後10年の行政との協定内容の変化等は以下のごとくです。

1. 運営補助金82百万円が0円となり、設備投資支援型の準公有民営に転換します。すなわち運営については補助金型から実質民営化に変更されます。
2. 更なる市民支援型に進化します。市民の皆さまには利用促進だけでなく、適正な運賃改定をお願いします。過去の10年の再建計画では、開業から数年後に最低1回は、予定していた運賃値上げの実施を見送り、大きく経営改善を図ることができました。今後は、運営補助金なくなることから4月から逸走率3%を含む運賃14%程度引き上げ(旧補助金の約半分を利用者負担に転換)を地域のご理解もあり実施します。
3. 地域づくりに生きるように鉄道の運営を図ります。

今後は、いわゆる行政と市民と交通事業者の“三方よし”になるように努力します。

新しい協定のもと、今後の4月以降も引き続き皆様のご支援をお願いするとともに、社員一同さらなるアイデアと汗で乗り切る所存です。』

6月



第8回貴志川線に乗って
じゃがいも掘り(6月7日)

400人
参加

8月



貴志川線支援継続を
尾花和歌山市長に要請(8月7日)



貴志川線支援継続
中村紀の川市長に要請(8月7日)

10月



第9回貴志川線祭り
(10月31日)

来場者
3,000人

11月



中川隆人遺作写真展
「フォトレイン」(10月~11月)



1月



第4回駅からウオーク
ハイキング(1月17日)

4月



ご利用感謝プレゼント配付
(4月1日)

缶コーヒーを
200人に



和歌山電鐵開業10周年記念式典
(4月2日)



第11回貴志川線に乗って
たけのこ掘り(4月9、16、24日)

■設備や乗り心地の改善進む

快適便利な貴志川線へ、27年度中に次のような設備等の改善が行われました。

- ・線路設備の改良
日前宮～神前間(ほぼ全区間)
- ・各駅 駅名板の更新(駅番号付き)
- ・日前宮・竈山駅ほか 駅周辺案内板の設置
- ・伊太祈曽駅 発車案内表示モニターの設置
- ・案内放送の外国語対応

■ダイヤ改正

7月9日(土)に実施

主な内容

- ・JR阪和線特急・快速電車との接続改善(特に夜間大阪方面との)
- ・貴志行き42分間隔の解消
- ・貴志行き最終電車を23時40分に繰り下げ

■運賃値上げ実施 初乗り運賃170円から190円に

和歌山電鐵では、4月1日開業以来初めて(消費税除く)平均14.2%の運賃値上げを実施しました。少子化、道路整備が進む中、行政の支援が欠損補助から設備改修への補助金となったこともあり、経営努力と行政の支援だけでは赤字運営脱却が困難なため、利用者にも最低限の負担をお願いせざるを得ないという結論に達したと説明を受けました。今後もさらなる営業努力を行っていくとしており、沿線住民の盛り上げも求められています。

小嶋社長と懇談会

「自力」

平成28年4月2日、和歌山電鐵懇談会を開きました。

懇談会の中で小嶋光信社長は、設備補助を前提とした準公設民営化の案を打ち出した。行政の支援や「つくる会」の力を迎えられたが、引き続き課題は多いという考えは仁坂知事と同じ。適度な負担を求め、

また、今後は沿線開発として、沿線の促進、四季の郷公園や平池公園の整備を進め、愛着を持ってもらえるよう子供向けができるよう、今後も和歌山電鐵に力を入れていく。懇談会では、沿線住民の盛り上げも求められています。

9月



貴志川線支援継続を
仁坂和歌山県知事に要請(9月3日)

2月



沿線桜の木の手入れ
(2月13日 龜山駅)

12月19日
山東沿線

12月から1月
2コース
169人参加

6月



「うめ星電車」デビュー
梅づくし祭り (6月4日)

来場者
2,000人

3回開催
387人参加

営業で再建にチャレンジする」

～次の10年の経営ビジョンを語る～

10周年記念式典後、貴志川線の未来を"つくる"会は小嶋光信社長と

新たな10年はこれまでの行政による運営のための補助金ではなく、設
となることについて、「自力営業で再建を図るという高い目標にチャレン
の応援、たま駅長の大活躍のお陰で、補助金を使いきることなく10周年
残っている。現在のような三位一体となった経営スタイルが最も良いと
危機感を持ちながらも将来性のある経営を続けたい」と話しました。
沿線住民に利用しやすい鉄道づくりを目指した新駅の設置、三社参り
など魅力ある観光資源のブランド化をはじめ、年少時から貴志川線に
けの交通教室を開くなどの具体策も紹介され、「次は20周年のお祝い
と"つくる"会が一丸となって活動を続けよう」と互いに決意を新たに

2015年 (平成27年)

- 5月 23土 27年度第4回定例会 以降月2回年度内23回開催
- 28木 27年度第2回貴志川線運営委員会 以降月1回12回開催
- 6月 6土 第8回じゃがいも掘り 会場準備作業 (18名)
- 7日 第8回じゃがいも掘り (来場者400名) スタッフ25名
- 20土 会報、27年度会費納入依頼文書発送作業 (53名)
- 26金 中川隆人さんを偲ぶ写真展第1回準備会、以降5回開催 (5名)
- 28日 大賀ハス「観蓮会」出展、グッズ販売、入会受付 (12名)
- 〃 たま駅長社葬 応援 (16名)
- 7月 2木 ∼4土 和歌山駅9番ホーム会費受付 (延12名) 入会89名
- 7火 乗降客調査応援 (和歌山駅、岡崎前駅) (2名)
- 19日 たま折り紙講習会 (折り紙の会、つくる会5名)
- 25土 西貴志コミセン夏祭り出店、グッズ販売、入会受付 (7名)
- 8月 7金 貴志川線支援継続、和歌山市長、紀の川市長に要請 (三役)
- 13木 ∼16日 貴志駅夏季繁忙応援 (延べ12名)
- 22土 長山団地夏祭り出店、グッズ販売、入会受付 (4名)
- 30日 名松線応援乗車、名松線を元気にする会と交流会 (2名派遣)
- 9月 3木 貴志川線支援継続・仁坂和歌山県知事に要請 (三役)
- 5土 三菱電機「黒潮祭り」出店・グッズ販売、入会受付
- 15日 第29回日本高齢者集会移動分科会活動報告 33名参加
- 19土 たま百日祭、「たま駅長ふあふあ」お披露目 (6名)
- 10月 15木 ∼11月13金 中川隆人さん資料贈呈式 (10名)
- 〃 中川隆人遺作写真展 (車内と和歌山駅)
- 17土 商工会議所青年部近プロ大会分科会 活動報告
- 23金 会費納入再度のお願い文書発送作業 (5名)
- 30金 第9回貴志川線祭り 準備作業 (17名)
- 31日 第9回貴志川線祭り 来場者3,000名 スタッフ97名
- 11月 3月 菜の花ロードプロジェクト参加 (主催山東まち会) (3名)
- 7土 ∼8日 「わかやま商工まつり」ミニトレ、グッズ販売 (延12名)
- 14土 くみあい祭り (県中小企業団体連合会) ミニトレ運転 (2名)
- 17火 貴志川線存続支援合意について発表 知事記者会見
- 22日 貴志駅イルミネーション取付け作業、点灯式 (8名)
- 29日 西貴志コミセンまつり出店、グッズ販売、入会受付 (4名)
- 12月 13日 第5回駅からウオーク&ハイク①82名参加、スタッフ13名
- 19土 桜の木の手入れ、蕪除去 (山東∼大池遊園間) (7名)
- 〃 クリスマス電車プレゼント袋詰め作業 (8名)
- 20日 クリスマス電車応援 (和歌山駅、貴志駅、車内) (8名)
- 27日 門松製作、伊太祈首駅に設置 (5名)

2016年 (平成28年)

- 1月 3日 ニタマ駅室披露、たま神社初詣催事 (4名)
- 9土 貴志駅イルミネーション撤去作業 (11名)
- 17日 第5回駅からウオーク&ハイク②87名参加、スタッフ13名
- 2月 7日 じゃがいも掘り種芋植え付け作業 80名参加
- 13土 龜山駅桜の木手入れ (12名)
- 3月 15火 いちご電車でいちご狩り運行応援 (3名)
- 20日 大池遊園駅桜まつり準備・清掃、飾り付け (17名)
- 4月 1金 ご利用感謝プレゼント配布 和歌山駅で200個 (5名)
- 〃 和歌山電鐵運賃改定 (改定率平均14.2%) 初乗り運賃190円に
- 2土 和歌山電鐵開業10周年記念式典 (6名)
- 〃 和歌山電鐵小嶋社長と役員懇談会 (12名)
- 9土 第11回たけのご掘り 会員の部168名参加
- 〃 大池遊園駅桜まつり飾り付け撤去作業 (9名)
- 16土 第11回たけのご掘り一般の部①87名参加
- 17日 じゃがいも掘り準備 草引き20名参加
- 24日 第11回たけのご掘り一般の部②132名参加
- 30日 和歌山中央メーデー ミニトレ運転応援 (4名)
- 5月 3火 ∼5木 貴志駅GW応援・記念入場券販売、案内 (延20名)
- 6月 4土 うめ星電車デビュー 梅づくし祭り 2,000名参加 (9名)

貴志川線の未来を“つくる”会

平成28年度(2016年)活動計画

～これからの10年にあたって、『永続に向けての正念場の10年にしよう』～

今年度は貴志川線開業100周年、和歌山電鐵開業10周年の記念の年です、廃線の危機を乗り越えた10年でしたが、これからの10年は欠損補助から設備整備への支援に変わった行政の新たな支援の中で、自立経営による永続へのスタートの年です。貴志川線を応援するボランティア団体として住民の熱意と行動を集め、貴志川線の永続を確実にするため活動します。

I. 基本方針

地域の財産、住民の足のみならず、和歌山県観光の大きな資源である「貴志川線」の永続を確実なものとするため、乗車人員250万人の実現による自立経営の確立に向けて、まちづくりの活動と結び、和歌山電鐵、自治体、関係諸団体と連携して活動を進めます。

II. 重点目標

- (1) 自立経営へ引き続き輸送人員250万人の実現を目指します
 - ①「チャレンジ250万人」運動を継続して実施します
 - ②沿線住民の貴志川線利用促進に取り組みます
- (2) 快適・便利で利用しやすい貴志川線を目指します
 - ①駅設備、ダイヤ、サービスなど要望集約を行います
 - ②電鐵や関係機関に実現を求め提言していきます
 - ③大池遊園駅対向設備復活、日前宮～神前駅間新駅設置に引き続き取り組みます

III. 具体的な取り組み

- (1) 住民の声と想いを結集して活動できる組織づくりに取り組みます
 - ①会員3,000名以上を目標に入会呼びかけを行います
 - ②地域活性化の活動を進める皆さんとの協働行動に取り組みます
 - ③ボランティアスタッフへの登録と、活動への参加を進めます
 - ④会員限定イベントを開催いたします
- (2) 利用促進と貴志川線魅力発信へ各種イベントを電鐵と協働して取り組みます
 - ①タケノコ掘り、じゃがいも掘り、貴志川線祭り、ウォーキング、貴志駅春季・夏季多客期支援、大池遊園桜まつり、クイズラリー、駅清掃美化、樹木の養生、草刈り、門松作りなど
 - ②地域のイベント参加(コミセン祭り、メーデー、キッズステーション、労協まつり、平池観蓮会など)
- (3) 三社参りの復活と活性化に電鐵に協力し取り組みます
- (4) 広報活動に取り組みます
会報発行、入会促進リーフレット作成、ホームページの活用、「のぼり」の製作・掲出
- (5) 地域に密着した貴志川線作りへ各駅にサブネームをつけることを提言していきます
- (6) 楽しい貴志川線作りへ一駅一名物作りに取り組みます
- (7) 地方交通の存続と活性化へ学習・政策活動に取り組みます
 - ①ワークショップを開催し新しい「提言」づくりに取り組みます
 - ②地方鉄道活性化に取り組む諸団体との交流、協働に取り組みます
 - ③公共交通維持強化の政策学習と資料の収集、活用に取り組みます

2016年6月～2017年5月 年間スケジュール

6月	貴志川線に乗ってじゃがいも掘り 会報と会費納入依頼発送
7月	和歌山駅ホームで会費受付 沿線に咲く花写真展クイズラリー 第3回絵手紙電車、準備、運転
8月	共育支援メニューフェア 出展 貴志駅お盆繁忙期応援
9月	三菱電機黒潮まつり 出店 ふるさと線を守る連絡会と交流会
10月	和歌山商工まつり 出店 コミセンまつり(旧貴志川町) 出店
11月	第10回貴志川線祭り(予定)
12月	貴志駅イルミネーション クリスマス電車 迎春準備 門松製作
1月	駅からウォーク&ハイキング たま名譽駅長誕生日催事
2月	駅からウォーク&ハイキング じゃがいも掘り植付け作業
3月	いちご電車でいちご狩り 和歌山電鐵開業記念日催事
4月	大池遊園「桜まつり」 じゃがいも掘り草引き作業 貴志川線に乗ってたけのこ掘り 和歌山県中央メーデー 出店
5月	貴志駅GW繁忙期応援 ご利用感謝プレゼントデー

※事情により変更される場合があります。

あなたの乗車が貴志川線の永続につながります！



平成27年度は2,142名のご入会をいただきました。ありがとうございます。

平成27年度会計決算についてご報告いたします【28年度第2回定例会承認(2016年4月23日)】

一般会計

- 収入は、会員2,142名の会費と、前年度繰越金および寄付金(223名、572,452円)、和歌山電鐵グッズ販売手数料、貴志川線祭り売上げ、預金利息等で収入総額は397万0,962円となりました。
- 支出は、「貴志川線祭り」はじめ利用促進各イベントの開催、「たけのこ掘り」と「じゃがいも掘り」の会員限定設定と、通信費、事務費などに、節減を旨に取り組み支出総額は310万6,047円となりました。
- 収入、支出の郵貯振替は会費入金タイムラグによると年度初の運営資金として運用したものです。
- 繰越金の処理について 次年度繰越金56万3,915円は全額次期一般会計に充当いたします。

「基金」および「特別会計」

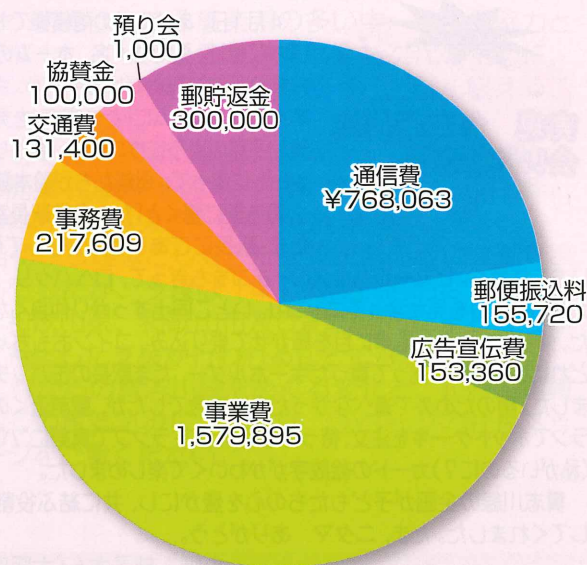
- 「貴志川線整備基金」について、貴志川線の施設、車両の老朽化に備えて2007年(平成19年)から積み立てています。今年度支出はなく昨年度残額に利息319円が増額となりました。
- 「ニュース和歌山25周年記念助成金」について ニュース和歌山社から2008年(平成20年)3月12日に寄贈いただいたものです。今年度支出はなく利息36円が増額となりました。

平成27年度(2015年)決算報告

〈収入の部〉

科目	金額	摘要
前年度繰越金	842,152	
会費	2,142,000	1,000円×2,142名
雑収入	678,810	寄付金、手数料等
預り金	8,000	後年度会費
郵貯振替	300,000	
合計	3,970,962	

〈支出の部〉



〈支出の部〉

科目	金額	摘要
通信費	768,063	会費納入案内、ハガキ等
郵便振込料	155,720	1,295名分
広告宣伝費	153,360	チラシ、のぼり等
事業費	1,579,895	各種イベント開催
事務費	217,609	コピー機、倉庫借用等
交通費	131,400	スタッフ交通費実費
協賛金	100,000	うめ星電車サポーター
預り会	1,000	会費1名充当
郵貯返金	300,000	
合計	3,407,047	

〈収支決算〉

収入	3,970,962
支出	3,407,047
次年度繰越金	563,915

〈繰越金内訳〉

普通預金	485,063	(紀陽銀行国体道路支店)
現金	78,852	
合計	563,915	

〈基金内訳〉(貴志川線整備基金)

定期預金	1,510,014	(紀陽銀行国体道路支店)
(前期繰越1,509,695円と利息319円)		

〈特別会計内訳〉

普通預金	345,871	(ゆうちょ銀行 友田郵便局)
(前期繰越345,835円と利息36円)		

会計監査報告

2016年4月22日

貴志川線の未来を“つくる”会

代表 濱口晃夫 殿

監査 山本好延 (印)

監事 中西亮子 (印)

貴志川線の未来を“つくる”会 会則第6条第8項にもとづき2015年度(平成27年度)会計監査を実施したので、下記により報告します。

記

1. 監査実施日 2016年4月22日
2. 監査場所 貴志川線の未来をつくる会事務局
3. 監査対象 2015年度会計
4. 監査期間 2015年4月1日～2016年3月31日
5. 監査の結果 帳簿・証拠書類等が、正確かつ適正に処理されていることを認めましたので報告いたします。

以上

ひろば

会員、ご利用の皆さまからのお便りをご紹介します。



紀の国の女王伝説「名草姫」。私が所属する劇団『ZERO』が、昨年から公演している舞台作品です。この作品の舞台は、竈山駅からほど近く、名草山のふもとにある吉原中言神社に紀元前に実在したといわれる女王の物語です。

舞台の創作に係り、古代から和歌山が大変重要な地であったことがわかってきました。歴史の中心を担う神々を

祀る日前宮、竈山神社、伊太祁曾神社、この三つの神社をお参りする為、いわゆる三社参りの為に貴志川線ができたそうです。

この緑豊かな沿線では、たくさんの精霊が出迎えてくれます。四季の郷公園、大池遊園、平池公園など心を癒してくれるパワースポットがたくさん。

みなさん、たまちゃん電車に乗って、神々と精霊たちに会いに行きませんか。きっとすばらしいことが待っていますよ。

石村 渚さん(和歌山市)



4月1日、あいにくの雨模様でも行くうちご参り。孫たち4名、ホームの階段のたまの足跡を見ただけでキャッ、キャッと声をあげ、ホームに「たま電車」を見て飛び乗り子猫のようにウロウロ、温もりのあるシートに座って、母親たちが絵本読み。

貴志駅に着くと「たま名誉駅長室」と「にたま」駅長にごあいさつ。そして雨の中、

いちご農園へ。ビニールハウスのイチゴをちぎって、口へパクリ、パクリ、大きいイチゴを見せ合ってニコリ。いとこ同士すっかり仲良くなりました。帰りはおもちゃ電車に目を輝かせて乗り込み、コインおもちゃの前でどれにしようかと迷って買ったキーホルダー、たま駅長の缶バッジをつけました。雨のため外で遊べなかったのは残念でしたが、駅前近くのレストランでホットケーキを注文、待ってる間、たまランプで真剣に「パバヌキ」(私がいるのに?)カードの絵数字がかわいくて楽しめました。

貴志川線の企画が子どもたちの心を豊かにし、共に結ぶ役割を果たしてくれました。たま、ニタマ ありがとう。

中野 純子さん(大阪府堺市)



高校生だった20年前は通学、新卒で就職したときも通勤に貴志川線を利用していました。そして結婚出産を経て、現在、子ども達も大きくなり、また現在の職場に通勤するために貴志川線を利用しています。最近では小さい頃を過ごしている娘の同級生たちを見かけると、つつい声をかけてしまいます。授業やクラブの話をしてくれる姿はと

ても成長したなと微笑ましい気持ちになります。そして、塾帰りの子の笑顔に出会ったりすると、「疲れている場合じゃないな」と勇気をもらいます。また、私が学生だった頃のおじさんやおばさん達は、もうすでに仕事を引退し、趣味の旅行や買い物にいくときに貴志川線を利用している姿をよく見かけます。そんなときは将来の自分の姿も想像しつつ、貴志川線はなくてはならないライフラインの一つであり、いつまでも生活の中で大切に、繋がりがつづけたいなと思う日々です。

落合 彩矢さん(紀の川市貴志川町)



♪てんてんまり～和歌山駅を出発してまもなく聞こえてくる軽快な音楽…明石から約2時間半!たま大明神、ニタマ駅長が待っていてくれる貴志駅に向かう貴志川線に乗車すると、いつもの事ながら不思議な気持ちになります。終点貴志駅の手前では「よく来たにゃあ」ではなく「おかえりにゃあ〜」の音が聞こえてきます。

故郷と呼べるものを一生持てなかった私にとって、正しく「わかやま電鐵貴志川線」は心の故郷なのです。

大好きなたま電車に揺られゆらゆら30分の田園風景や大池遊園の鉄橋から眺める車窓は、心の癒し、デトックスの不思議空間です。

到着すると真っ先に向かうたま神社。駅舎に入って、ニタマ駅長の勤務を目にしただけで、もう心は幸せ一杯なのです。

たま神社に手を合わせると、そのまっすぐ先にはもう一つ私の愛する聖地高野山がはるかに望めます。たま神社も高野山も一度にお参り出来る、なんて贅沢な事なんでしょう。そう貴志川線は、どんなに疲れた人でも必ず元気にさせるお薬のような電車です。

夢は、貴志川線が舞台でニタマ駅長が時折顔を見せるテレビドラマが出来ないかしら?いつかそんなドラマが出来ればいいな。大好きな貴志川線!

小山 博子さん(兵庫県明石市)

ボランティアスタッフ募集です!

ご協力頂ける方は、お送りしております28年度会費振込票のボランティアスタッフの登録を「希望します」に○印をお付け下さい。

(活動内容) 駅の清掃、イベント、駅での案内・整理、駅プランター散水・花づくり、郵便物発送作業、情報発信(ポスター、ちらし作成)等



●定例会のご案内●

定例会は月2回(第2土曜日13時30分・第4土曜日19時から)開催しています。どなたでも出席いただけます。ご連絡お待ちしております。

☎0736-64-6866 代表 瀧口 晃夫まで



引き続き貴志川線の発展へ活動を続けてまいります。
28年度会費の納入につきまして
ご協力いただきますようお願い申し上げます。

■会費 年額1,000円(期間:加入日に関わらず2019年3月31日まで)

■納入方法 郵便局振込み 口座番号:00960-1-277944

(事務局)和歌山市伊太祁曾558

伊太祁曾神社内(9:00~17:00)

和歌山駅9番ホームで受付

7月7日(休)、8日(金)15:00~19:30

9日(土)13:00~18:00